



## Press Release

---

新型ランボルギーニ、ガヤルド・スーパーレジェーラ

もっともスポーティで「純粹」なガヤルドよりパワフルで軽量のシリーズ・リーダー

2007年2月28日



2007 年 2 月 26 日、イタリアサンタアガタ・ボロネーゼ発:

アウトモビル・ランボルギーニは、妥協のない高性能スポーツカー、ガヤルド・スーパーレジェーラを発表致します。さらなるパワーアップ(10馬力の向上)と100kgの軽量化(米国向けでは70kg)により、ガヤルド・シリーズの頂点に君臨するスーパーレジェーラは、よりいっそうダイナミックな車に仕上がっています。この車のパワーウエイトレシオはわずか2.5kg/hpと、まさに頂点にふさわしい数値です。

スーパーレジェーラはまた、クラス最高の俊足を誇ります。0~100km/h加速はわずか3.8秒。標準モデルよりも0.2秒短縮され、あらゆる走行条件でスピードと存在感を示します。

ランボルギーニ・ガヤルド・スーパーレジェーラはきわめて高性能なスポーツカーであり、ステアリング・ホイールから手を離すことなくシフト操作が行える「eギヤ」ギヤボックスを標準装備しています。新型ガヤルド・スーパーレジェーラは、2007年3月からディーラーネットワークを通じて販売が開始されますが、その生産台数はガヤルドの標準モデルよりも少なく抑えられます。

## 新技術によりパワー向上

ランボルギーニ・ガヤルド・スーパーレジェーラのエンジンは、同社の定評ある 4,961cc V10 エンジンの最新型で、最高出力は 530PS / 8,000rpm を発生します。このパワーアップは、インテーク負荷による損失を抑えると共に排気背圧を調整することで体積効率を改善し、電子制御系を最適化することにより実現しています。もちろん、排出ガスは厳格な EURO 4 および LEV II 基準を満たしています。

## 軽量構造によるハイパワー

ランボルギーニのエンジニア陣は、先進素材と技術の採用により、軽量なガヤルドの車重(乾燥重量 1,430kg)をさらに 100kg も削ぎ落としました。エンジンフードは、一目でそれとわかるカーボンファイバーと透明なポリカーボネイトを組み合わせたものとなり、軽量性を確保しつつ超高性能 V10 エンジンを車外から眺めることができます。また、リアのディフューザとアンダーボディ・カバー、ドアミラー、ドアパネル、センタートンネル・カバーなどもカーボンファイバー製。ガラスの一部を透明なポリカーボネイトに交換したことも、軽量化に貢献しました。また室内では、ガヤルド・スーパーレジェーラがカーブを走り抜ける際に発生する強烈な横 G に対してドライバーと乗員の体をサポートするよう、アルカンタラ(r)を張ったモノコック・カーボンファイバー・スポーツシートが採用されました。

## 独自のスペックと幅広いオプション

ガヤルド・スーパーレジェーラにはきわめて高性能なスペックと幅広いオプションが用意されており、その一部はスーパーレジェーラ専用となっています。ランボルギーニ・ガヤルド・スーパーレジェーラは、ロボタイズド機械式トランスミッション「e ギヤ」を標準装備し、ショック・アブソーバを含むスポーツパッケージ、スエード革巻のステアリング・ホイールなども備えています。塗装色は、Midas Yellow (マイダス・イエロー)、Borealis Orange (ボレアリス・オレンジ)、Telesto Gray (テレスト・グレイ)、Noctis Black (ノクティス・ブラック)の4色。標準装着されるピレリ製 P Zero Corsa タイヤは、スコルピウスと名づけられた新デザインの鍛造ホイールとの組み合わせにより、ガヤルド・スーパーレジェーラならではのアクセントとなっています。オプションの一例としては、カーナビゲーション(日本向けには設定なし)および CD チェンジャー付きのマルチメディア・システム、駐車をサポートするリヤビュー・カメラ(オプションのリヤウイングを装着した場合のみ)、インテリアのカーボン・アクセサリキット、固定式リヤスポイラー、4点式シートベルト(米国、日本向けには設定なし)、中空リヤフレームもしくはフィッティングポイント(後日設定)(米国、日本、中東向けには設定なし)、カーボン・セラミック・ブレーキなどがあります。

---



